

目指す学校像	「通ってよかった、原山中！」と生徒が思える学校
重点目標	1 基礎学力の習得と充実 探究的な学習活動の推進 キャリア教育の充実 2 自己肯定感、自尊感情の高揚 全ての教育活動を通して行う非認知能力の育成 3 体力・運動能力の向上 健康教育・安全教育・食育の推進 4 コミュニティ・スクールの充実 地域人材・企業等の活用 学校H・Pの充実 5 研修履歴に基づく教職員研修の充実

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	（8割以上）
	B	概ね達成	（6割以上）
	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学校自己評価								学校運営協議会による評価	
年度目標					年度評価			実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【学びの質の向上に関する取組】 ＜現状＞ ○全国学力・学習状況調査の質問紙調査や、市学習状況調査の国語・数学の結果とも全国、市平均と比べ高い。 ○手帳や計画表を用いた自立した学習者の育成を目指している。 ＜課題＞ ●自律的な学習については他に比べて肯定的な回答が低い傾向が見られる。 ●生徒の学力の二極化。 ●習得した基礎的な知識・技能を、教科横断的に活用する場面の設定。	・学びの自律化、個別最適化、探究化に向けた授業改善 「生徒が見通しをもって、主体的に学習に取り組むための指導の実践と工夫」 ①基礎学力の向上 ②探究的な学びの推進	①基礎学力の向上 ・生徒が手帳を活用し、見通しと振り返りの習慣をもたせる研究【自律化】 ・定期テスト時における、生徒の実態に応じた具体性のある計画の作成と実施の指導【個別最適化】 ・個による学習方法の選択【個別最適化】	①学校評価項目12において、生徒・保護者による肯定的な回答が5%向上することができたか。 ②市学習状況調査の結果において、生徒のよい変容が見られたか。 ②スタディサブリのより効果的な活用方法について研究することができたか。					
			②探究的な学びの推進 ・教科横断的な視点を意識した探究的な学習活動の指導計画作成と授業の実践 ・STEAMS time の実践と振り返り	①学校評価項目5・7において、生徒・保護者による肯定的な回答が5%向上することができたか。 ②探究的な学びの時間を指導計画に位置付け、実践する。カリマネデザインマップの作成及び実践。					
2	【子どもの発達や心のサポートに関する取組】 ＜現状＞ ○全国学力・学力状況調査の質問紙調査から、生徒の自尊意識、自己肯定感は全国、市平均と比べ高い。 ＜課題＞ ●教室外の場所での学習を希望する生徒が増えている。 ●それに伴う、場所、人の確保が困難。	・自己肯定感・自尊意識の醸成 ・個に応じた居場所の確保 ・生徒指導・教育相談体制の充実 ・迅速な情報共有と、他機関との連携	①生徒による学校・学年行事、委員会等の運営 ②学習室（SOLA ルーム）の有機的な運営	①学校評価項目1・3に於いて、生徒・保護者による肯定的な回答が5%向上することができたか。 ②学習室運営における工夫。					
			①生徒指導委員会と教育相談委員会での議事・検討の充実を図り、組織的な生徒への支援とその見取り ②組織内の迅速な情報共有と、他機関との積極的かつ継続的な連携	①個に応じた支援を検討し、組織的に指導に当たることができたか。学校評価項目13において保護者による肯定的な回答が5%向上できたか。 ②学校評価項目19において教職員による肯定的な回答が5%向上できたか。					
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 ＜現状＞ ○地域の自治会や青少年育成課、公民館等からの生徒ボランティアの依頼が増え、自主的に参加する生徒も増えてきた。 ○地域から好評の「七夕まつり」「クリスマスイルミネーション点灯式」を引き続き実施し、地域との交流を充実させていく。 ＜課題＞ ●学校からの情報発信不足。	・学校運営協議会を軸とした学校と地域連携の推進 ・学校HP、安心メールを活用した情報発信と教育活動参観の機会設定	①熟議の充実を図り地域、保護者と協働する学校づくりを行う。 ②ボランティア活動への積極的な参加を生徒へ促す。 ③計画的に地域と協働する機会を増やす	①学校運営協議会への生徒の参加及び生徒からの発信があったか。 ②地域行事や募集が来ているボランティアへ生徒の有機的な参加があったか。 ③地域と協働する機会があったか。					
			①学校ホームページを活用した情報発信の頻度を上げ、教育活動の周知 ②地域、保護者への授業参観等の機会を確保し、開かれた学校づくりの推進	①ホームページの更新頻度を上げることができたか。学校評価項目8において保護者による肯定的な回答が50%を超えることができたか。 ②時宜を得た情報を伝えることができたか。					
4	【教育環境の整備に関する取組】 ＜現状＞ ○学校施設を安全できれいな環境づくりに努め、学習しやすい環境を保つよう教職員一同工夫を凝らしているが、経年劣化による施設の老朽化や校地内の樹木の巨木化が顕著である。 ○35人学級に向けた教室再配置等の整備。 ＜課題＞ ●計画的な修繕や樹木の剪定依頼。 ●粗大ごみの計画的な廃棄、スペースの有効活用。	・安心・安全な生活の実現に向けた校内外の整備と安全意識の向上	①長期的な視点に立った計画的な修繕 ②formsを活用した安全点検の確実な実施と素早い情報の共有 ③年度当初の校内巡り、引き渡し訓練実施による避難経路及び引き渡し場所等の確認、生徒の避難所運営訓練への参加	①毎学期の管理職による見回りと、教職員からのヒアリングを行い修繕の優先順位をつけているか。 ②毎月10日の安全点検の実施を通じて、施設の不具合の早期発見と早期修繕を実施できたか。 ③適切な指導を実施し、防災意識の向上に努めたか。					
5	【教職員のキャリア形成に関する取組】 ＜現状＞ ○自主研修の充実が見られた。それにより、生徒への教育活動や校務分掌の充実や有機的な取組が見られるようになった。 ＜課題＞ ●本校の実態に即した研修を効果的に実施し組織の力を向上させるためにも、計画的な研修計画が求められる。 ●旅費が不足している。	・職員が3「勤務してよかった原山中」と思える学校運営の実施	①これまでの研修履歴に基づく長期的な視点で行う個人研修の実施とその支援 ②学校課題に即した組織的な研修の実施と教職員の資質向上 ③ベテラン教員の経験知・実践知の形式化と若手教員への継承を行い、「働いてよかった原山中」という学校文化の醸成	①人事評価面談において評価履歴に基づく研修計画の立案とその実施、管理職による支援があったか。 ②探究的な学習についての校内研修を実施し、それぞれの授業に生かすことができたか。 ③学校評価項目25、26において教職員によるAの回答率をどちらも5%向上することができたか。					